

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	入居者へ楽しみや喜びの多い生活を提供するために個々の希望に添った外出や趣味の継続、ホーム全体での外出及びレクリエーションの充実等に取り組んできた。今回、職員への「入居者の活動支援に対するアンケート調査」の中で、入居者がこれまでの人生で体験した事のない事(例えば初めて体験した農作業や初めて作るおやつや料理等)を体験した時に、生き生きとした言動を認めたとの意見があった。これまでは、過去の生活歴や趣味等から支援内容を検討してきたが、入居者にとって経験のない新しい体験がもたらす良い影響も活かしていくことが出来ないか考えた。	入居者がこれまで経験した事のない出来事をイベントや活動を通して体験できる(例えば珍しい野菜や果物の栽培、パン作り、季節のおやつや料理作り等)。この体験が入居者にとって生き生きわくわくとした時間となり、ホームでの生活が楽しみや喜びの多いものとなる。	①入居者・家族から体験してみたい事を聞き取る。 ②具体的な内容(珍しい野菜や果物の栽培、パン作り、季節のおやつや料理作り等)を職員で検討する。 ・雑誌やインターネットを活用し情報収集する。 ③運営推進会議で①②を踏まえて意見を聞く。情報提供を呼びかける。 ④年間計画表を作成する。 ⑤必要な時はケアプランに位置付ける。 ⑥活動・イベント毎に企画書を作成する。 ・支援のポイントを明確にする。 ・入居者の負担とならないよう配慮する。 ⑦繰り返し行うことで効果が得られるものは継続する。	1ヶ月
				⑧週1回のカンファレンスで実施状況について検討する。 ・全体及び個々の利用者の参加状況の把握や評価等を行う。 ⑨年間計画以外にも、随時活動・イベント内容を検討していく。 ⑩行事の様子など、ご家族の面会時に写真や活動報告書を活用して伝えていく。 ⑪運営推進会議で計画の進捗状況を説明していく。また、情報提供を呼びかける。	6ヶ月
				⑫一年間の取り組みを評価し、成果を整理する。 ⑬運営推進会議や本人、家族に成果等を報告する。 ⑭本人、家族の希望を踏まえ、新たな目標を検討していく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。